

# 保存版

# 宇佐市洪水ハザードマップ 河川氾濫した場合 洪水避難の心得

## 1 水害に備えた事前の心構え

### ■情報入手方法の確認

テレビ、ラジオやパソコン、スマートフォン等から常に最新の気象情報や災害情報を確認しましょう。

河川の水位情報やリアルタイムの河川映像のありかを事前に確認しておきましょう。

【防災・気象情報のありか】

大分地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/oita/>  
大分県雨量・水位観測情報 <http://river.pref.oita.jp/>  
大分県土砂災害危険箇所情報 [http://sabo.pref.oita.jp/bousai\\_s/dosya\\_map/](http://sabo.pref.oita.jp/bousai_s/dosya_map/)  
おいた防災ボーナル <http://www.pref.oita.jp/site/bosaiportal/>  
宇佐市防災情報 <http://usa-bousai.com/>  
宇佐市防災マップ <http://usa-bousai.com/?page=map>  
宇佐市防災カメラ <http://usa-bousai.com/?page=camera&name=1>  
川の水位情報 <https://k.river.go.jp/>

■避難先・避難ルート・避難方法を確認しましょう  
避難所までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。氾濫した水は茶色に濁っています。ふたのない水路などは見えません。



■非常持ち出し品を準備しておきましょう  
避難所の備品には限りがありますので、自らが十分な準備をすると安心です。両手の空きリュックサックに非常持ち出し品を準備しておきましょう。



### 【非常持ち出し品】

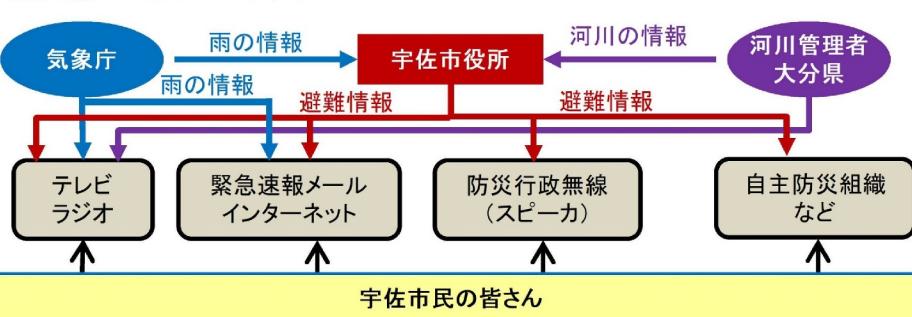
非常食、水、携帯ナイフ、タオル、常備薬、ロープ、懐中電灯・電池、貴重品、ティッシュ、育児用品、軍手、ラジオ、ヘルメット



■避難訓練への参加  
避難訓練が開催される場合は、積極的に参加しましょう。



## 情報の伝わり方



## 洪水ハザードマップについて

近隣の地域で観測された大雨をもとに想定し得る最大規模の降雨が降った場合に、浸水が想定される範囲やその浸水する水の深さを表したものです。雨の降り方によってはその図に色がついていない場所でも浸水する可能性がありますのでご注意ください。

## 2 避難時の心構え

### 避難情報

### 警戒レベル 3

#### 避難準備・高齢者避難開始

高齢者は速やかに立退き避難する。  
早期立退避難が必要な区域、土砂災害警戒区域の方は準備が整いしだい、避難を開始する。

### 気象情報

### 大雨警報・洪水警報

大雨や洪水により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合。

### 警戒レベル 4

#### 避難勧告

速やかに全員避難する。  
少しでも安全な区域へ避難を開始する。  
直ちに全員避難する。  
避難場所への立退き避難に限らず、建物内においてより安全な部屋への移動など命が助かる行動をとる。

### 土砂災害警戒情報

命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況。

### 警戒レベル 5

#### 災害発生情報

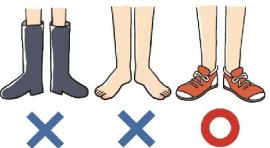
既に災害が発生している状況である  
災害が起きそうにない箇所でも危険度が高まることから、命を守る行動をとる。

### 大雨特別警報

大雨や洪水により重大な災害の起こるおそれがあると予想される場合。

### ■運動靴をはいてください

長靴の中に水が入ると、歩きにくくなります。  
はだしは危険です。ひもでしめられる運動靴をはいて避難してください。



### ■動きやすい服装で避難してください

動きやすい服装で、2人以上で避難してください。



### 既に浸水している場合

■長い棒を杖のかわりにする  
■はぐれないようロープをつかむ  
氾濫した水は茶色に濁っています。ふたのない水路などは見えません。長い棒をもち、安全を確認しながら歩いてください。はぐれないようロープをつかみ、特に子供から目をはなさないよう注意しましょう。



## 原則!! 早めの避難

### 浸水前の早い段階で安全な場所へ

水の中を避難するのはとても危険です。  
降雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難勧告を待たずに自動的に避難を開始してください。避難勧告は居住者等全員が避難する段階です。  
避難所へ速やかに避難ください（避難時は、開設されている避難所を確認のうえ、移動ください）。

## 逃げ遅れたら! その場その時で命を守る行動を

### 浸水した後は、より高い場所へ避難してください。

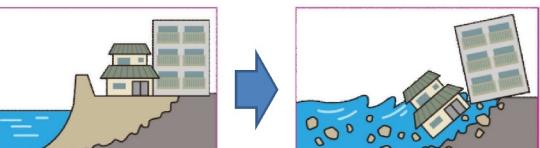
### 想定される 浸水深

浸水が長引くと孤立してしまう場合もあります。浸水前の早い段階で安全な場所への避難を考えてください。

5m 以上	3階床上浸水が予想される
3~5m 未満	2階床上浸水が予想される
0.5~3m 未満	1階床上浸水が予想される
0.5m 未満	1階床下浸水が予想される

## 早期に立退き避難が必要な区域とは

河川沿いの地面が削られて崩れるおそれのある区域



河川が氾濫した場合、水の流れるスピードが速く、木造の建物が倒壊する恐れのある区域



500mを歩くのにかかる時間

成人男性  
約6分

成人女性  
約8分

高齢者  
約10分

## 災害用伝言ダイヤルのかけかた

●忘れてイナイ（171）？災害伝言171と覚えてください●

★伝言を登録する

171にダイヤル → 録音の場合【1】 → 自宅の電話番号を市外局番からダイヤルし、伝言をいれください。

★伝言を聞く

171にダイヤル → 再生の場合【2】 → 被災地の電話番号を市外局番からダイヤルし、伝言聞いてください。

宇佐市防災行政無線  
電話応答サービス

専用電話番号（通話料無料）  
0800-200-2722

災害時の無線放送の内容を確認できます。  
(各自治会等で行う放送は確認できません)

## 問合せ・緊急連絡先

宇佐市役所 0978(32)1111 安心院支所 0978(44)1111 院内支所 0978(42)5111